

水俣市愛林館の合宿「働くアウトドア」体験

夏期休暇などを活用して社会人や学生を対象に、水俣市山間部の久木野地区で森づくりを体験してもらう約2週間の合宿宿泊「アウトドア」。地元に地図おし施設「愛林館」が始めた要年のもの。5年、同館の主催でつまり18回目を数え



る長い取り組みだ。「働く」と、ボソや余暇を意味する「アウトドア」を組み合わせたユニークなネーミングに、引かれ、2日間参加。体を動かし森づくりについて考えた。

(水俣市長・重川英介)

体動かし、森の大切さ実感



植林した森に向かう作業道の草を刈る合宿参加者。
大切な山仕事の一つだ

放つておけば水分が行き渡らす。もろ枯れする恐れがある。

横列に並んで見落とさないよう注意して進む。久木野地区はどうか。木をうかんで急傾斜を登る作業は「アウトドア」で見えぬもないのが足元が気になって進む。だが足元が見落としがち。木材価値の低迷による林業衰退後輩不足全員が「アンド」と見えぬもないの間にかかる。久木野地区では、「木のまんなは採り」の声が山仕事初

度を度外視して、土地をいる柴本さんはお手の物。ケイイイ准。いると言ふ。「そにちゅーちゃん、木屋町の面積(約1万6200ha)のうち林野さん続い声が山仕事初

度を度外視して、土地を

いる柴本さんはお手の物。ケイイイ准。いると言ふ。

。

記者走る

記者走る

◆無料で食事も

通れる状態にしておこう

日程は8月1日から15日間。午前6時から午後7時まで、汗が止まらない作業

4時間半、山仕事や炊事、焼きなどが組まれている。懸念される。参加・宿泊は無料で、食事付き。半日だけの参加も可能だ。

午前6時から午後7時まで、汗が止まらない作業

4時間半、山仕事や炊事、焼きなどが組まれている。懸念される。参加・宿泊は無料で、食事付き。半日だけの参

加も可能だ。

災害防止、水源涵養… 生活や命つなぐ仕事



市立大学院生 柴本晴香さん(32)が率いて、午前6時から午後7時まで、汗が止まらない作業

4時間半、山仕事や炊事、焼きなどが組まれている。懸念される。参加・宿泊は無料で、食事付き。半日だけの参

加も可能だ。

市立大学院生 柴本晴香さん(32)が率いて、午前6時から午後7時まで、汗が止まらない作業

4時間半、山仕事や炊事、焼きなどが組まれている。懸念される。参加・宿泊は無料で、食事付き。半日だけの参

加も可能だ。

◆慣れば快感
約1時間。よやや目的地の森に着いた。

◆慣れば快感
約1時間。よやや目的地の森に着いた。

体験の記者に飛んだ。慣ればと鍛錬の切れ味に快感を得、瞬く間に時間が過ぎた。

作業終え愛林館に戻る中、溌々水で喉を潤す。木割灌叢、二酸化炭素吸収、水質改善、土壊被覆、土砂災害の防

止・森づくりは私たちの命に直結する大切な仕事など実感する。

メニューや森づくりのほか、竹を焼きにい

ふど、今朝の阿蘇地方大豆から豆腐をつくる「愛林館が棚田に施工した石垣被害を思った。」「川で水遊びするな大雨が加え、火山灰が降り重なる特有の地層構

組む。」愛林館はこのほか、午間を通してイベントを企画している。同館=0966(09)0485。

岩燒きに竹を焼いて、午間を通してイベントを企画している。同館=0966(09)0485。

また、田舎暮らしで生きる農業が体験で